

TEAM
MASSA-R

Suzuka 8 hours 2015

**2015 鈴鹿8時間耐久ロードレース
参戦企画書**

2015年2月



オヤジたちの、「本気」からの「意地」。

現在のバイクブームを牽引しているのは、
40代から50代。
この世代が只の「オヤジ」と見られるか、
「勢いのある世代」と見てもらえるか。
それは各々が、日々どんな行動（アクション）を
起こしているかにかかっている。

同世代に「まだまだやれる」勇気と希望を、
若者世代に「自分もやってやる」という情熱を。

そんなコンセプトを掲げ、ショップ代表が集まってチームを結
成し、2014年の鈴鹿8時間耐久に挑戦しました。

各スポンサー様・個人サポーターの方々のご協力のもと、参戦
1年目にして予選ではクラス1位、決勝ではクラス1位走行中に
転倒はありましたが、コースレコード樹立や、マシンも何とか
修復し、完走という結果を残す事が出来ました。

しかし、手に届きそうだったクラス優勝を逃したという悔しさ
は残り、今年、リベンジする事を決意しました。

この「オヤジ」たちの「本気」から、「オヤジ」たちの「意
地」の挑戦に、ご支援・ご協力いただければ幸いです。

TEAM MASSA-R

チーム代表 茂木 正人

2015 鈴鹿8耐参戦エピソード

2013年末、
その企画は皆が解りきっていたかのように走り出した。
「鈴鹿8耐に参戦する」と。

参戦すると決まれば、役割を決め準備に入った。
あらゆる人脈や、お世話になっているメーカー様にも声を掛けた。
支えてくれる温かな声が、オヤジ達を前に突き動かしていた。

プライベートチームとして、出来る限りの環境整備に努めた。
全ては、オヤジ達の本気に賛同してくれた方々の想いと、
走るオヤジライダーの大人になれない純粋な心のために。

バイクは、映画「汚れた英雄」に登場したTZ500のカラーで臨んだ。
オヤジ達がまだ若かりし頃に感銘を受けた映画だ。
伝説の二輪レーサーは、誰よりも速く走り、世界チャンプになることが
全て。ゼッケンNo.62は、この映画からもじったものだ。

そして迎えたレースウィーク。

迎えた予選。精一杯走った。今までにないほどの集中をして。
そして皆で目を向けた予選リザルト。
クラス1位。「これは行ける！」
明日の本番を前に、いつも以上に念入りに準備に取りかかるクルー。

そして決勝の朝を迎える。

オヤジ達は、8耐の神様から試練を受けた。
突然の豪雨によるスタートディレイ。
「負けるものか！」
高ぶる気持ちを落ち着かせながら、スタートの時を待った。
おおよそ、1時間後のスタート。

天気は、雨が降ったりやんだり、8耐らしい天候であった。
タイヤチョイスも難しい。周りのチームも同じだ。
そんな中、次々と転倒車両が現れる。
緊張が走った。そんな中のライダーチェンジ。皆の心は一つ。
ライダーを信じてる。

8耐の神様は、オヤジ達を受け入れたのか、
レインの中 疾走するライダーは
次々と上のクラスのマシンをパスしてゆく。
この時点でも、クラス1位を死守。
「やはり行ける！」
皆の想像が「確信」に変わろうとしていた。

ところが、8耐の神様は甘くなかった。ライダー転倒 ―――。
マシンの損傷が著しい。
一生懸命 応急処置を施すも、無情に進む時計。

何とか走れる状態になり、ライダー再出発。
築いていたアドバンテージは、全て時間とともに流されてしまう。

悔やまれるも、大きな決断。上位奪還を狙いつつも、
まずはしっかり完走しよう、と。

振られるチェッカーフラッグ。
オヤジ達の一番熱い夏が終わった。

スタート時のクラス1位は、終われば4位に。
初参加でのリザルトとしては、大きな一歩とも取れる。

しかし、オヤジ達のハートの炎は鎮火することなく、
むしろさらに燃え上がっていった。

来年もやる！上を目指す！

目標は決まった。



「鈴鹿8耐」とは？

開催日

7月23日（木）～26日（日）

「鈴鹿8耐」とは？＝ 正式名称は「鈴鹿8時間耐久ロードレース」

1978年から30年近く開催されており、世界中の各国を転戦する 世界耐久選手権シリーズのうちの1戦でもある。「MOTO GP」（※いわばオートバイ版の「F1」）に参戦するワールドクラスの選手や、全日本選手権のトップライダーをはじめ、バイクショップチーム（プライベーター）など、多種多様なライダーが参戦する耐久レース。

真夏の鈴鹿を、8時間でコースを何週出来るかという過酷なレース

8時間という通常レースの10倍以上の時間を走るため、1人で走るのではなく、1台のマシンを2人～3人のライダーが交代しながら走る。近年8耐では、日中の最高気温は35度を超え、路面温度は60度を超える。この人間にとってもマシンにとっても過酷な環境下で、8時間のうちにコースを何週できるかで順位を競いあう。

メカニックの力、スタッフのチームワークも非常に重要

耐久レースにおいては、給油やタイヤ交換の作業時間をいかに短くするか、どのタイミングでピットインさせるかなどのレース構成等、組織の団結とチームワークを最も必要とする。

さらには事前のマシン製作も、最も重要な要素のひとつである。各ライダーが、スプリントレースなみの速さと安定性で8時間を走り切れるマシンを製作しなければならない。ライダーの転倒のリスクもさることながら、毎年相当数のチームがマシントラブルでリタイヤを余儀なくされている。したがって、鈴鹿8耐を「完走」すること自体に、大きな意味が生まれるのだ。

メディアの露出が多く、イベント性の高い 華やかなレース

ホンダ、ヤマハ、カワサキ、スズキの国内4大メーカーに加え、BMW、ドゥカティ、KTM、アプリリアといった海外メーカー、またワールドクラスのライダーも参戦するため、国内メディアだけではなく 海外のメディアでも大きく取り上げられる。

レースと同時進行して、場内では様々な企画が催されるため、ファミリーでの来場も多い。特に昨年は往年のレジェンド・ライダー「ケビン・シュワーツ」や、カワサキワークスから13年ぶりの参戦もあり、来場者はレースウィーク中、11万人を超えた。また現地で観戦できないファンのために、BS放送による生中継も行われている。モータースポーツ誌でも大きく取り上げられ、国内のオートバイレースの中では最もメディアへの露出が多いレースのひとつである。



第1ライダー 茂木 正人 (Mogi Masato) バイクショップ「茂木二輪工房」 代表

1967年生まれ・48歳。群馬県出身。

18歳でレースデビューし、22歳でジュニア昇格、24歳で国際昇格。
その後活動休止して以降41歳にして、13年ぶりに鈴鹿のレースに出場
(鈴鹿4時間耐久レース)。その後国際ライセンスに再昇格し、43歳にして
16年ぶりの鈴鹿8耐出場を果たす。MFJ公認インストラクターとしても活躍。
2013年、オートバイショップ茂木二輪工房をオープン。

＜主なレース実績＞

- 1985 筑波サーキットでRZ250RRでレースデビュー
- 1990 全日本選手権RRジュニア250クラス ランキング3位
- 1991 国際A級昇格 全日本選手権250クラス参戦
- 1992～94 鈴鹿8時間耐久 出場
- 1995 一時レース活動休止
- 1997 T.O.T.(テイストオブ筑波)にてレース再開
- 以降 毎年筑波・もてぎのイベントレースに参戦
- 2012 もてぎ7時間耐久ロードレース 優勝
- 2010～12 3年連続アプリリアRSV4にて鈴鹿8時間耐久 完走
- 2014 鈴鹿8時間耐久 完走(マシン:ヤマハ YZF-R1)



第2ライダー 岡田 年晃 (Okada Toshiaki) 二輪総合サービス事業「ARS (アクティブレッシングサービス)」 代表

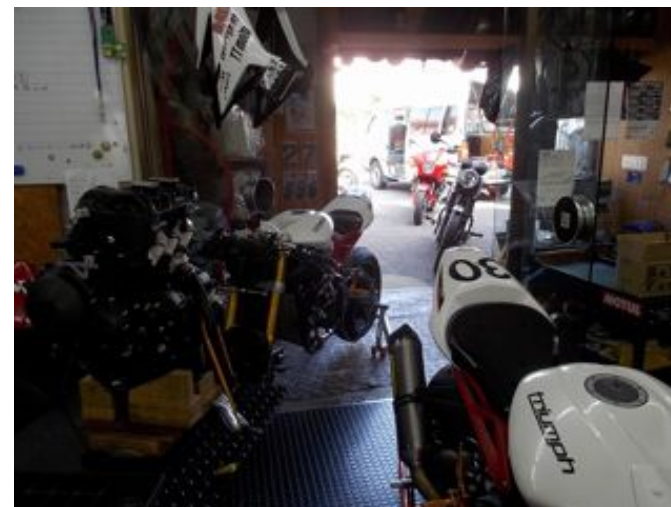
1970年生まれ・45歳。神奈川県出身。

16歳で二輪免許取得、大垂水峠では名の知れた峠小僧となる。
28歳でバイク熱が再燃しGPZ購入。2006年、36歳でZRX1200
フルカスタムに没頭。その後サーキットに目覚め、39歳でレースデビュー。
アラフォーの遅咲きレーサーながら、デビュー4年目・43歳にして国際ライセンス
を取得。念願の鈴鹿8耐参戦の権利を手にした。

＜主なレース実績＞

- 2009 筑波ツーリスト・トロフィー NMクラスにてレースデビュー
- 2010 筑波ツーリスト・トロフィー 参戦(マシン:Aprilia RSV4)
- 2012 筑波ロードレース選手権、もてぎロードレース選手権 参戦
- 2013 筑波ツーリスト・トロフィーinMARCH GSX-R MASTERS 優勝
- もてぎロードレース選手権 JSB1000 ランキング3位
- もてぎロードレース選手権 オープンチャレンジ ランキング2位
- 鈴鹿4時間耐久ロードレース 参戦(マシン:ヤマハ YZF-R6)
- 2014 鈴鹿8時間耐久 完走(マシン:ヤマハ YZF-R1)

第3ライダー 選考中



メカニック 高山 康宏 (Takayama Yasuhiro)
バイクショップ「T.T.MOTO」 代表

1967年生まれ・48歳。東京都出身。

フライス・旋盤などの工作機械を使用した、パーツ製作・修理・調整の経験を生かし、2000年より輸入バイクのショップにメカニックとして従事。

2006年よりT.T.MOTO設立。自社にて内燃機(エンジン)の修理・加工・チューニングを行い、外車・旧車からレース車両まで、幅広いオーダーに対応する。デイトナ・スピードウェイ(アメリカ)や、マン島T.T(イギリス)等、海外レース経験も豊富。

＜近年の主なレース実績＞

2009～ もてぎ7時間耐久ロードレース参戦 (チーム:T.T.MOTO)

エンジン/車体制作・メカニック・ライダー担当

2012 全日本ロードレース ST600クラス フル参戦 (チーム:T.T.MOTO)

エンジン制作・メカニック担当

2012 T.O.T.(テイストオブ筑波) 神楽月の陣

2013 T.O.T.(テイストオブ筑波) 皐月の陣/神楽月の陣

HERCULESクラス 優勝(3連勝)

(チーム:BORG&D:REXwith MERVERICK)

エンジン制作・メカニック担当

2014 鈴鹿8時間耐久 参戦

2014年 鈴鹿8耐 実績

2014 鈴鹿8耐 リザルト

- 結果 予選：S S Tクラス 1位（総合46位）
決勝：S S Tクラス 4位（総合54位）
※参加台数70台中
- バイク ヤマハ YZF-R1
■クラス S S T（スーパーストック）
■ゼッケン No. 62

【決勝レポート】 天候：晴・雨 コース状況：乾燥・湿潤

11時30分の決勝スタート直前に、突然の大雨でスタート進行が中断し、改めて雨の中、12時35分に決勝がスタートした。46番手からスタートし、走行状況が晴天・大雨・セーフティーカー導入など、めまぐるしく変化する中、茂木・豊田・岡田の3選手が交代しながら、常時20番手後半（SSTクラス首位）をキープ。しかし、17時頃にテグナー2つ目のコーナーで転倒し、吸気系やアクセルワイヤーの点検・修理ために40分ほどピットイン。その後レースに復帰し、19時30分に無事チェッカーを受けた。

鈴鹿8耐

2014

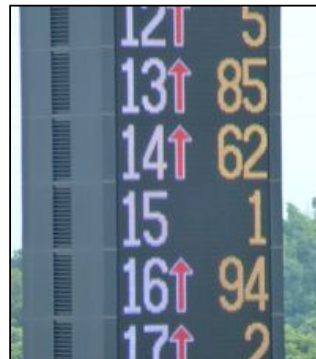
2014 FIM Endurance World Championship Series, Round 2
"Coca-Cola Zero" Suzuka 8hours World Endurance Championship Race
8hours Official Race Results

DATE:2014-07-27 WEATHER : Rain/Fine COURSE : Wet/Dry 5.821km

Pos.	No.	Cls.	Team	Type	Laps	Total Time	Delay	Best
			1st Rider	2nd Rider	3rd Rider			
54	62	SST	4 TEAM MASSA-R M.MOGI	Y-YZF-R1	141	6:56'48.594	31Laps	R.2'15.214
			T.OKADA	H.TOYODA				

MACHINES:B=BMW,D=DUCATI,H=Honda,K=KAWASAKI,KT=KTM,S=SUZUKI,Y=YAMAHA

"R" Mark is New Courserecord. Old Courserecord was (SST) 2'17.033



メディア露出

2014年鈴鹿8耐に参戦した「TEAM MASSA-R」に関連する記事が、紙面媒体およびwebサイトに掲載されました。幅広い層に向けてアピールが可能です。

ヤマハ 鈴鹿8耐スペシャルサイト



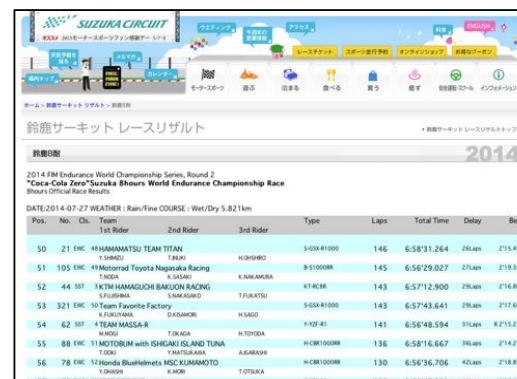
<http://global.yamaha-motor.com/jp/race/2014suzuka8h/team/62/>

ヤマハ 鈴鹿8耐スペシャルサイト



<http://global.yamaha-motor.com/jp/race/2014suzuka8h/report/>

鈴鹿サーキットwebサイト



http://www.suzukacircuit.jp/result_s/2014/8tai/index.html

鈴鹿8耐公式プログラム



雑誌：ライディングスポーツ 10月号



茂木二輪工房ホームページ



<http://mogi-2rin-koubou.in.coocan.jp/>

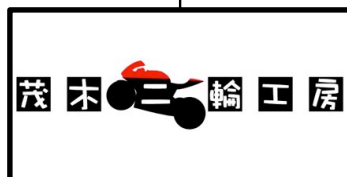
3ショップ結集のチームだからこそ 出来ること

「TEAM MASSA-R」チーム体制



チーム代表
茂木 正人

〒379-2117
群馬県前橋市二之宮町1244-1
TEL/FAX : 027-268-3999



- ・ジュニア育成
- ・ミニバイクレース
- ・T.O.T参戦
- ・もて耐参戦

茂木二輪工房
〒379-2117
群馬県前橋市二之宮町1244-1
TEL/FAX : 027-268-3999



- ・全日本JSBもてぎ
- ・地方選手権参戦
- ・バイクノレースの
楽しさ伝承

ARS (アクティブラーシングサービス)
〒190-1212
東京都西多摩郡瑞穂町殿ヶ谷555-1
TEL : 042-557-8872
FAX : 042-556-6684



- ・全日本メカニック
- ・海外レース経験豊富
- ・エンジンチューニング

T.T.MOTO
〒208-0021
東京都武蔵村山市三ツ藤3-14-3
TEL : 042-520-8590
FAX : 042-520-8591

高い運営力・宣伝効果

3ショップの力を結集させ、
チームの運営力を高めます。
また、1ショップでは成し得ない
宣伝効果を生み出します。

同世代への強いアピール

各ショップ代表が全員40代
であることを敢えて「武器」とし、
現在のオートバイブームを牽引
する40～50代へのアピールに
つなげます。

幅広い層へのアピール

さらに、若年層へのアピール・
各ショップの顧客へのアピール・
業界全体へのアピールにつなげ
ます。

鈴鹿8耐参戦 ご協賛のお願い

< 必要経費 概算 >

	想定予算
● マシン(ヤマハ・YZF-R1 2015モデル)車両代 2台	¥3,000,000
● マシン改造費 2台	¥3,000,000
● マシンパーツ・消耗品、燃料代	¥1,000,000
● オイル代、タイヤ代(テスト走行分含む)	¥1,500,000
● ライダー装備品、スタッフ装備品代	¥500,000
● テスト走行代、サーキット往復交通費、宿泊費	¥700,000
● レースエントリー代、ピット設営費	¥300,000
合計	¥10,000,000



※人件費を省いても、8耐のスタートを迎えるまでに、最低でも上記の費用がかかります。

気合と根性で育った世代の我々が、今の若者達に見せつけてやれるものは、理屈や理論以上に、「やってやる!」という気合と「負けないぞ!」の根性が まず大事であると思っています。

今年 オートバイ大好きなオヤジ達が集まり、世界選手権に挑戦します。真夏の暑さに負けない、熱い走りを行います!

3ショップの力を集結した「オヤジ」たちの「意地」の挑戦に、ご支援・ご協力をお願いいたします。